

働き方改革の実現に向けて

平成28年11月17日
働き方改革実現推進室

働き方改革をめぐる政府の動き

- 9月27日に第1回働き方改革実現会議を開催。安倍総理、関係大臣に加えて、労使双方の代表等の有識者議員による議論がスタート。年度内に具体的な実行計画を取りまとめた上で、国会に関連法案を提出する予定。

8月3日
第3次安倍第2次改造内閣発足、
働き方改革担当大臣を新設



最大のチャレンジは
「働き方改革」。

9月2日
内閣官房に働き方改革実現推進室を設置



世の中から「非正規」という言葉を一扫
していく。そして、長時間労働を自慢す
る社会を変えていく。

9月27日
第1回働き方改革実現会議を開催
(10月24日に第2回、11月16日に
第3回を開催)



大切なことは、スピードと実行。
もはや先送りは許されない。必ず
やり遂げるという強い意志をもっ
て取り組んでいく。

第1回働き方改革実現会議における総理の御発言ポイント

- 「働き方改革」は、第三の矢、構造改革の柱。
- 大切なことは、スピードと実行。もはや、先送りは許されない。
- 必ずやり遂げるという強い意志を持って取り組んでいかなければならない。
- 今年度内に具体的な実行計画を取りまとめた上で、スピード感をもって国会に関連法案を提出をする考え。
- 「働き方改革」のポイントは、働く方に、より良い将来の展望を持っていただくこと。
- 同一労働同一賃金を実現し、正規と非正規の労働者の格差を埋め、若者が将来に明るい希望が持てるように。
- 長時間労働を是正すれば、ワーク・ライフ・バランスが改善する。女性、高齢者が、仕事に就きやすくなる。
経営者は、どのように働いてもらうかに関心を高め、労働生産性が向上する。
- 働き方改革こそが、労働生産性を改善するための最良の手段。
- 働き方改革は、社会問題であるだけでなく、経済問題。
- ロボットからビッグデータ、AIまで、デジタル技術の活用が進む中で、働き方も間違いなく変わる。

働き方改革実現会議における討議テーマ

①同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善

②賃金引き上げと労働生産性の向上

③時間外労働の上限規制の在り方など長時間労働の是正

④雇用吸収力の高い産業への転職・再就職支援、人材育成、格差を固定化させない教育の問題

⑤テレワーク、副業・兼業といった柔軟な働き方

⑥働き方に中立的な社会保障制度・税制など女性や若者が活躍しやすい環境整備

⑦高齢者の就業促進

⑧病気の治療や子育て・介護と仕事の両立

⑨外国人材の受入れの問題

働き方改革実現会議 構成員

- 議長
- 議長代理
- 構成員

安倍晋三	内閣総理大臣
加藤勝信	働き方改革担当大臣
塩崎恭久	厚生労働大臣
麻生太郎	副総理 兼 財務大臣
菅 義偉	官房長官
石原伸晃	経済再生担当大臣 兼 内閣府特命担当大臣(経済財政政策)
松野博一	文部科学大臣
世耕弘成	経済産業大臣
石井啓一	国土交通大臣

(有識者)

生稲晃子	女優
岩村正彦	東京大学大学院法学政治学研究科教授
大村功作	全国中小企業団体中央会会長
岡崎瑞穂	株式会社オーザック専務取締役
金丸恭文	フューチャー株式会社代表取締役会長兼社長グループCEO
神津里季生	日本労働組合総連合会会長
榊原定征	日本経済団体連合会会長
白河桃子	相模女子大学客員教授、少子化ジャーナリスト
新屋和代	株式会社りそなホールディングス執行役 人材サービス部長
高橋 進	株式会社日本総合研究所理事長
武田洋子	株式会社三菱総合研究所政策・経済研究センター副センター長 チーフエコノミスト
田中弘樹	株式会社イトーヨーカ堂 人事室 総括マネジャー
樋口美雄	慶應義塾大学商学部教授
水町勇一郎	東京大学社会科学研究所教授
三村明夫	日本商工会議所会頭